

<b>団体名</b>	三次市	<b>所属</b>	観光交流課	<b>他団体等との連携</b>	三次市観光協会等
<b>連絡先</b>	観光振興係 (0824)64-0066				

<b>取組事例名</b>	オール三次の観光推進チームの取組	<b>取組期間</b>	平成24年5月～
--------------	------------------	-------------	----------

### 取組の概要 ～ オール三次観光推進プロジェクトの戦略の策定

- オール三次（全域・全員）の視点から、総合的・戦略的・効果的に観光の振興を図る。
- (1) 全市共通的な官民一体の観光戦略の組み立てと共有
  - (2) 三次市の全域・全員に通ずるものとして取り組むべき企画の立案
  - (3) 市内で行われる観光関係の主要な取組が観光戦略に結びついたものとして企画されるように当事者への働きかけを行う。
  - (4) 観光情報発信の一元化
  - (5) その他、オール三次の観光推進に必要なことの企画及び実行

構成メンバー・・・三次市観光協会、君田町観光協会、作木町観光協会、三良坂町観光協会、甲奴町観光協会、三次商工会議所、三次広域商工会、布野町女性会、三次市、三次市吉舎支所、三次市三和支所、三次観光サポートスタッフ

### 取組の背景 ～ 旧行政区割りの視点からテーマ別、機能別の視点へ

観光振興の取組は、合併後旧市町村単位で行われているため、連帯感をあまり感じず、羅針盤がない。また、観光客が必要とする情報を一か所に揃えられず、観光客が信頼できる事前情報・予備情報を与えられていない状況である。市内各地域で行われる観光催事等の情報も事前に共有されにくく、どこで何が行われているのか情報共有が不十分である。

### 取組のねらい ～ 外部から消費力・購買力を取り込む、三次市のファンを増やす

厳しい経済状況を克服し激しい地域間競争に勝ち抜くとの危機意識を共有し、中国横断自動車道尾道松江線の開通のインパクトを活かしながら、オール三次（全域・全員）の視点から、総合的・戦略的・効果的に観光の振興を図り、もって外部から活力（集客・消費購買力）を取り込むことを目的とする。

### 取組の具体的内容 ～ オール三次観光推進戦略に即した観光の取組を企画

官民の関係者が一体となって、必要な取組を企画・実行するため、各観光協会や商工会議所、広域商工会などで構成する、オール三次の観光推進チーム（20名）を立ち上げ、12回の会議を開催した。

具体的には、(1) 全市共通的な観光戦略（タイミング、ターゲット、行動原理等）の組み立てと共有、(2) 観光情報の一元的な収集発信システムの構築、(3) 魅力のつなぎ合わせモデル企画、(4) オール三次観光戦略協賛ロゴの作成、(5) ブランド・イメージづくりなどについて議論を行った。

なお、チームのリーダーは三次市副市長が行い、観光交流課が事務局となり、意見の集約を行った。

また、魅力のつなぎ合わせのモデルコースを企画するため、全地域のコアな観光資源を視察し、各メンバーからモデルコースの案を提出してもらった。



(会議の様子)



(観光資源を視察し情報共有)

## 取組を進めていく中での課題・問題点 ～ オール三次の視点

オール三次で取組を進めていくためには、できるだけ全員の積極的な参加が望ましかったが、なかなか参加できないメンバーもいた。また、基本的には組織から選出されたメンバーであるが、なかなか組織全体へ会議の決定事項が伝わっていないケースがあったことから、情報の共有と一体感の醸成が、取組を進めていく中での最も必要なことである。

## 創意工夫した点 ～ 全域・全員に通ずるもの、大きな訴求力をもつ魅力の塊

### (1) 広報みよしやホームページでの情報公開

会議の内容や決定した事項を広報みよしやホームページへ掲載し、情報をできるだけメンバーや市民へ伝えるようにした。また、市役所ほっとニュースなどでもできるだけわかりやすく伝えるように心がけた。

### (2) オール三次観光プロジェクトのロゴマークを作成～戦略を効果的に進めていくため

市内の各主体が観光の企画・事業が「オール三次観光推進戦略」に即したのものとして行われるようにする、さまざまな魅力要素を単独でなく“群”として訴求していく。

さらにオール三次観光として各取組主体同士の連帯感や観光おもてなしの気運・雰囲気高めるための一助として作成した。



(プロジェクトのロゴマーク)

### (3) 観光フレーズ案を公募し、オール三次の観光推進チームで決定

オール三次の視点から市民にも関心をもっていただくため、広報みよしで観光フレーズ選定し、その中から投票により観光フレーズを、オール三次の観光推進チームの総意として決定した。

■ 観光フレーズ：「のんびり ほっこり 三次めぐり」

## 取組の成果（効果） ～ 効果的な情報発信、まとまった動きで三次の魅力高める効果

### (1) 三次市観光公式サイト開設

三次市のホームページ（観光部門）、ミヨシタウンナビ、三次市観光協会のホームページを閉鎖し、新たに三次市観光公式サイトをスタートさせ、観光情報の一元化を図り、フェイスブック等によるリアルタイムな情報も開始した。



(三次市観光公式サイトトップページ)



(オール三次観光公式 facebook)



(きりこちゃん twitter)

### (2) 観光戦略に基づいた取組による賑わいの実感

三次市における様々な観光取組が「観光戦略」に結びついたもの・即したものとして行われることによって、オール三次観光としての連帯感・団結感のある強い「意志」と大きな訴求力をもつ「魅力」の塊となり、目標の達成をはじめとした三次の観光賑わいを実感できる状態となった。

(例) ステップ1の山陰方面をターゲットとしPRを行った結果、山陰方面からの観光客が増えた実感した。

## 今後の展開 ～ 体制の一本化をめざして

観光戦略に基づいた取組をオール三次で行っていくため、さらなる戦略の共有と協力の水平展開が必要である。その象徴的な方策として、オール三次観光戦略協賛ロゴを積極的に活用していく。

また、現在、三次市と三次市観光協会が共同幹事として情報集約し発信する体制をとっているが、一本化する体制が望ましいとの認識のもと、平成26年度までを目途に一本化の体制を構築することを目指す。

## 他団体へのアドバイス ～ 情報の共通と議論の重要性を実感

メンバーのベクトルを合わせ、より効果的な活動を行っていくため、広域な観光資源などの情報を共有し、会議で議論を行うことは重要な役割を果たした。